

## 8. 対応した高齢者虐待事例に共通していた事項

市町及び地域包括支援センター職員が平成26年度中に対応した高齢者虐待事例に共通していた事項を選択肢より5項目選んだ。最も多くの事例に共通していた項目を1位とし以下5位まで順位を付けて選択した。

集計は、1位として選択された項目に5点、以下2位4点、3位3点、4位2点、5位1点と傾斜配分で点数化し行った。

### <市町が回答した事例に共通する項目の上位項目>

・ 高齢者と養護者の人間関係	36点	選んだ市町	75.0%
・ 経済的困窮	35点	選んだ市町	75.0%
・ 高齢者の認知症	28点	選んだ市町	66.6%
・ 養護者の性格や言動	21点	選んだ市町	66.6%
・ 高齢者の性格や言動	17点	選んだ市町	41.6%

### <地域包括支援センターが回答した事例に共通する項目の上位項目>

・ 高齢者と養護者の人間関係	96点	選んだ包括	65.7%
・ 経済的困窮	67点	選んだ包括	57.8%
・ 養護者の性格や言動	58点	選んだ包括	44.7%
・ 養護者の介護疲れ	48点	選んだ包括	39.4%
・ 高齢者の認知症	47点	選んだ包括	39.4%

## 考 察

もともと「高齢者と養護者の人間関係」に課題がある家庭で「経済的困窮」や「認知症」「介護疲れ」などが重なったときに高齢者虐待が発生するリスクが高まる可能性が示唆されている。

高齢者虐待の発生には「高齢者と養護者の人間関係」や「養護者及び高齢者の性格や言動」など長い期間をかけて形成されてきた変容しにくい要因が関わっており、ほとんどの事例で家庭内のプライベートな関係への介入も必要であることが示されている。

「経済的困窮」が上位にあるということは、多くの事例で介護保険サービス利用や医療受診等が十分に出来ていないことが推測される。経済的困窮のきざしを見つけ早めに対応することが高齢者虐待を防ぐ手段となり得る可能性も示されている。

「認知症」の重篤化を防ぐことや正しい知識を得ることなど認知症への対策が高齢者虐待を防ぐ手段となり得る可能性も示されている。

## 9. 高齢者虐待事例に対応する際、困難度と感じた事項

市町及び地域包括支援センター職員が平成26年度中に対応した高齢者虐待事例で対応が困難だと感じた事項を選択肢より該当する項目全てを選んだ。

### <市町が回答した対応が困難だと感じた項目の上位項目>

・ 高齢者と養護者の人間関係	選んだ市町	11カ所	91.7%
・ 養護者の性格や言動	選んだ市町	10カ所	83.3%
・ 養護者の精神疾患（疑念）	選んだ市町	10カ所	83.3%
・ 経済的困窮	選んだ市町	9カ所	75.0%

### <地域包括支援センターが回答した困難だと感じた項目の上位項目>

・ 高齢者と養護者の人間関係	選んだ包括	28カ所	73.6%
・ 養護者の性格や言動	選んだ包括	28カ所	73.6%
・ 経済的困窮	選んだ包括	27カ所	71.0%
・ 養護者の精神疾患（疑念）	選んだ包括	22カ所	57.8%

## 考 察

前出の事例に共通する項目の上位だった事項の困難度が高いということは、多くの高齢者虐待事例の対応は困難を伴うものと言える。

特に「人間関係」「性格や言動」は、事例に共通し困難に感じる度合いが高か  
いにも関わらず、福祉施策やサービスの対象となりにくい場合が多く、他機関  
の支援を受けにくい現状にある。高齢者虐待対応担当チームのみで対応せざる  
を得ない状況に困難を感じていることがグループインタビュー（聞き取り調査）  
でも語られている。高齢者虐待の解消及び再発防止には発生要因への介入が欠  
かせないが、ほとんどの事例が家庭内のプライベートな関係への介入を伴って  
おり、精神的なストレスや時間がかかる負担感が大きいことも分かった。

「人間関係」や「性格や言動」などへの対応にそくした職種や職員数の確保  
が困難さを減少させる可能性があると考えられる。

「経済的困窮」の事例は困窮であるが故に使えるサービス等に限りがあり、  
解決の選択肢が狭まり困難度が高くなっていると考えられる。

## 10. 高齢者虐待対応に関する業務の困難度

高齢者虐待対応の際、業務内容別にどの程度困難を感じるか数字で答える。

マニュアル等を参照せずに対応できる業務や、比較的困難を感じずに対応できる業務の困難度は最小で4、困難度最大は1とし、最小4から最大1の4段階で選択し、困難度の平均値を出した。平均値が小さいほど困難度が高いと感じられる業務となる。

あわせて、業務ごとに具体的な内容等について自由に記述した。

### <市町編>

#### <市町が回答した困難度が最も高い業務>

##### **養護者への支援** 【困難度1.75】

- ・ 困難度を大以上とした市町の割合83.3%  
[最大] 5市町 [大] 5市町 [小] 2市町 [最小] 0市町
- ・ 自由記述より
  - ◆ 「理解力不足」「精神疾患」「介護放棄」「経済的困窮」「障害」「病気」などに関する記述がある。
  - ◆ 「具体的な支援方法が見いだせない」「養護者を支援する担当者がいないことが多い」「虐待の土台への介入が著しく困難」などの記述がある。

#### <市町が回答した困難度が2番目に高い業務>

##### **事実確認** 【困難度1.91】

- ・ 困難度を大以上とした市町の割合83.3%  
[最大] 4市町 [大] 6市町 [小] 1市町 [最小] 1市町
- ・ 自由記述より
  - ◆ 「相談してきた人の意識と当事者の意識に差がある」「高齢者、養護者双方の意見の相違」「通報者の主観」「事実確認する職員の主観で行われるため複数人で対応する」などの記述があった。
  - ◆ 「アプローチ方法の難しさ」「事実確認方法がこれでよいのか」「事実確認に時間を要す」などの記述が複数あった。

<市町が回答した困難度が3番目に高い業務>

**措置に関すること** 【困難度2.00】

- ・ 困難度を大以上とした市町の割合66.7%  
[最大] 4市町 [大] 4市町 [小] 3市町 [最小] 1市町
- ・ 自由記述より
  - ◆ 「事務処理が分からない」「判断が難しい」「予算も関係し難しい」「措置の経験がない」などの記述がある。

<地域包括支援センター編>

<地域包括支援センターが回答した困難度が最も高い業務>

**養護者への支援** 【困難度1.78】

- ・ 困難度を大以上とした地域包括支援センターの割合86.8%  
[最大] 14包括 [大] 19包括 [小] 2包括 [最小] 2包括
- ・ 自由記述より
  - ◆ 「少ない職員数で役割分担」「高齢者本人と並行しての支援」「面接の拒否」「コミュニケーション」「信頼関係を崩さないように接する」などの記述が最も多い。
  - ◆ 「課題を持つ養護者をつなげる機関が少ない」「フォロー不足」「養護者が支援を拒否することがある」など記述が複数ある。

<地域包括支援センターが回答した困難度が2番目に高い業務>

**高齢者への支援** 【困難度2.13】

- ・ 困難度を大以上とした地域包括支援センターの割合86.8%  
[最大] 8包括 [大] 17包括 [小] 11包括 [最小] 1包括
- ・ 自由記述より
  - ◆ 「高齢者は虐待をしている養護者をかばう」「高齢者が支援を望まない」「養護者への揺れ動く思い」などの記述がある。
  - ◆ 「行政との役割分担」「分離のタイミング、働きかけ」「高齢者との接触方法」などに関する記述がある。

＜地域包括支援センターが回答した困難度が3番目に高い業務＞

**事実確認** 【困難度2.16】

- ・ 困難度を大以上とした地域包括支援センターの割合65.8%  
[最大] 9包括 [大] 16包括 [小] 9包括 [最小] 3包括
- ・ 自由記述より
  - ◆ 「包括だけの訪問には限界がある」「介入方法を悩む」「タイミングが難しい」「情報の聞き出し方」「真実か、憶測か虚偽か、確認が難しい」などの記述がある。

**考 察**

市町・地域包括支援センターに共通する困難な業務は「養護者支援」と「事実確認」だった。

養護者自身の課題が精神疾患や生活困窮、人間関係、理解力不足など多岐にわたっていて、養護者支援は分野を超えた複合的な対応が求められていることが表われている。

「支援を拒否する」「虐待の認識がない」「コミュニケーションが難しい」などの記述も多くあり、養護者と接触すること自体が困難となっていることが考えられる。

また、養護者の年齢が65才以下である場合は、市町・地域包括支援センターを中心とする高齢者虐待対応担当チームだけでは担当外となり当然対応しきれない。養護者支援を担当できる支援機関を見つけ出し引き継ぐことが難しく、高齢者虐待対応チームが養護者支援を担わざるを得ない現状が伺える。

事実確認は、寄せられた高齢者虐待（疑念）相談についての事実と当該高齢者の安全を確認するためスピーディーな訪問を求められている。情報が少ないまま虐待が発生した家庭を訪問しているため、「訪問するタイミング」「質問の仕方」「拒否された場合」などのあらゆることに対する困難の記述が多くあった。

「どなられた」「罵倒された」などの経験を持つ職員もいて、女性だけの訪問に不安感を持っている記述もあった。

また、委託型地域包括支援センターだけの訪問には、行政のしっかりした関与や裏付けがないと大きな不安が生じる傾向があった。